

フォーラムでは、市内中学校から集まった生徒たちがグループになって、それぞれの意見を出し合いました



フォーラムに参加した生徒に聞きました

本音で話し合うことが大切



原 那月さん
(佐治中3年)

今回のいじめフォーラムでは「いじめを防止する」ために個人や学校(生徒会)でできるような案がいくつかありました。例えば、ポスターなどを生徒会で作って掲示したり、アンケートを定期的にとり、その結果を学校集会で全校に知らせたりすることです。

いくつかの案の中でも、学級内で話し合う時間を設けるといふ案が良かったと思います。やはり本音で話し合わないとい、お互いの考えも分からないし、そうすることで今後自分ができるような行動をとっていくか考える機会にもなると思います。

常に相手の気持ちを考える



及川 央莉さん
(中田中2年)

相手の気持ちを考えること、気持ちを伝え合うことが大切だと思います。自分勝手なことをしていれば、学

校という組織の中で決まりを守れなかったり、誰かを知らない間に傷つけてしまったりします。常に相手の気持ちを考えながら言葉遣いや行動に移すことが大切だと思います。

また、気持ちを伝え合うことは必ずしなければならぬことだと思いません。一度話し合いをして、お互いの意見を尊重し合えれば、いじめにつながらないと思います。

いじめ防止に取り組みたい



千葉 陽介さん
(南方中3年)

いじめをなくすためにできることは、いじめについての記事を生徒会報に載せることと、いじめについてのスローガンをたてたり、呼びかけたりすることです。この他にも相手への思いやりや話し合いの場をつくるということと、何か困っている人がいたら話しかけること、注意をする強い気持ちをもつということだと思います。


いじめをなくすためには、コミュニケーションが大事だと思います。学校では今日話し合ったいじめについてのことをいろいろと取り組んで、いじめのない学校にしたいと思います。

特集 どう取り組む 「いじめ」問題



▲各グループでまとめた「いじめ防止のためにできること」を発表

いじめ問題を考えるフォーラム



市教育委員会が7月25日に市消防防災センターを会場に開催しました。市内10中学校から生徒会の役員3人ずつが集まり(当日1人欠席)、「いじめ防止」をテーマに各グループに分かれて話し合いました。話し合いでは、いじめを防止するために「個人でできること」と「みんな(生徒会など)でできること」の二つの観点から意見を述べ合い、最後にグループでまとめたものを発表しました。グループでまとめた内容は参加した生徒たちが各学校に持ち帰り、全生徒への提言とし、いじめのない学校づくりを目指します。

いじめのこと、みんなで考えた いじめ問題フォーラム開催

「いじめ」という難しい課題に対し、当事者である子どもたち自身がどう取り組んでいくか。市教育委員会では、市内10校の中学校の代表者を集めいじめ問題を話し合うフォーラムを開催しました。

学校生活に生かしてほしい 「いじめフォーラム」の内容

今回の「いじめ問題を考えるフォーラム」では、学校や学年の違う中学生がグループをつくり、「いじめ」という共通の課題のもと、自分の考えを整理し、語り合うことが大切だと考えました。

「いじめ」について考え、「いじめ」をなくすために自分たちができることや生徒会や学校が協力してできることを考える機会です。生徒たちにとって、自分以外の周囲の友達のことを知る場にもなったと思います。



市教育委員会 活き生き学校支援室 千葉 整 室長

今回、グループごとにまとめた内容や生徒自身が感じたことを学校に持ち帰り、自分たちの学校の実態に合わせて、生徒自身が望ましい人間関係づくりに協力して取り組んでほしいものです。今回のフォーラムが、より良い学校生活が築けるようになるための一助となることを期待しています。

